

ひろしま産業振興ビジョン〔仮称〕（素案）に対する県民意見募集の結果について

県ホームページ等を通じて御意見を募集したところ、28件（15名）の御意見をいただきました。御協力に厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた御意見		御意見に対する対応・考え方	
1	広島市 40代 男性	（4ページ, 6～7行） 脱原発宣言とも読める記載ですが、国民的議論が尽くされた状況と言えず、原発との共存も視野にいれた対応も含みとして残すべき。	特に「脱原発宣言」という意図ではなく、原発の問題等については、国民的議論を踏まえた対応が必要と考えています。
		（6ページ, 14～19行） なぜ中国などに固執するのか不明。例えば、資源の豊富な南米（ブラジル等）との共栄も検討すべき。石油等の資源が豊富であり、広島に関係する企業を含め、日本からも多くの企業が現地法人を設立している。グローバルな視野が必要と感じます。（距離が遠いとの短絡的な理由ではないとは思いますが。）	資源の豊富な南米との共栄も重要な課題と認識しておりますが、県内企業のニーズが高く、友好提携や経済交流に関する覚書の締結など、取組を進めるための基盤が構築されている中国、インドを中心としたアジア地域について重点的に取り組むこととしています。
2	廿日市市 男性	旧市民球場跡地をリーズナブルな料金で飲食できる、例えばシンガポール、ニュートン・サーカスの様な場所にシアマチュア・ミュージシャン等がライブ、フリーにできる小型のステージ等を付設する。合わせて観光名所としてバスの駐車場も広くとる。	旧市民球場跡地の活用策については、広島市において検討が行われています。なお、頂いた御意見は有効活用するため、広島市に情報提供させていただきます。
		東日本震災以降、巷では自然エネルギーの提唱が良く聞かれるが、資源材料も大切。よってリサイクル業の推進に特化する。	リサイクルも重要な課題ですが、本ビジョンでは、本県が「強み」や「強みの芽」を持つ分野について重点的に取り組むこととしており、環境関係では環境浄化分野について重点的に取り組むこととしています。
		休耕田を利用し農業開発に注力する。農業家希望者に給与保証し出来た作物をECで直接販売する。（シニア・シルバー人材の活路）。	農業については、「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」の中で基本方針を定めて、取組を進めています。なお、頂いた御意見は、担当部局へ情報提供させていただきます。

お寄せいただいた御意見			御意見に対する対応・考え方
3	広島市 50代 男性	ビジョンを実現するための組織づくりも並行してやっていくことが重要です。策定後に動いて地域を動かそうとするエネルギーがあるかないかで、それぞれの地域の活性レベルが大きく違ってくものと思います。それはだれがするのかと言えば、県ではなく市や町の職員であり、企業者やその集まりではないかと思っています。	県だけでなく、市町、企業、産業支援機関、大学等も同じ目標を共有し、一丸となって取り組むことが重要であり、ビジョン策定後、普及・浸透を図っていきたいと考えています。
4	広島市 60代 男性	産業界はどういう状況の中で何をしたいと考えているのか、社会や市民の生活はどうなるべきかなどをベースとしながら、広島らしさを出せるとよいと思います。	産業界の意向を踏まえることはもちろん、今後の県民生活の向上も目指し、「広島らしさ」が出せるよう、ビジョンに基づく取組を進めていきます。
5	呉市 60代 男性	企業からの聞き取りなどから県として進めるべきテーマを絞り、広島県立総合技術研究所も県内企業を広く巻き込み事業化を目的としてほしいと思います。	重点的に取り組む分野については、県内企業等の意見も踏まえて定めています。事業化に当たっては、県立総合技術研究所も含め、県庁が一丸となって取組を進めます。
6	広島市 40代 女性	エコ推進に必要なあらゆる分野の掘り起こしをして欲しい。	エコ推進は重要なテーマであり、本ビジョンでも環境、エネルギー、省エネ関連分野に取り組むこととしています。
7	呉市 60代 男性	自動車の内燃機関から電動化への大転換対応のための技術的産業的課題は歴史的で、行政は先手を打つべき時期に入っているとします。	自動車の電動化の流れは今後も進展するものと予想され、本県の自動車産業が遅れをとることのないよう、取組を進めていきます。
8	広島市 50代 男性	実現目標と実施するためのロードマップが造られるといいと思います。	ビジョン策定後、ロードマップを作成し、ビジョンに基づく取組を計画的に進めていきます。
9	広島市 男性	広島県が昨年10月に発表された「ひろしま未来チャレンジビジョン」をもとに、広島県の産業振興のビジョンを描き、県と企業がその方向を共有し、一丸となって取り組むという考え方に、賛同します。	ご賛同いただき、ありがとうございます。県や企業だけでなく、市町、産業支援機関、大学等も同じ目標を共有し、一丸となって取り組むことが重要であり、本ビジョン策定後、その推進を図っていきたいと考えています。

お寄せいただいた御意見		御意見に対する対応・考え方	
9 (続き)	広島市 男性	また、少子高齢化、産業の空洞化など、広島県の抱える将来への危機意識に共感し、基本理念である、「魅力のある雇用の創出、県民が大きな希望を持てる強固な経済基盤の確立」をすべきものと考えます。	ご賛同いただき、ありがとうございます。魅力ある雇用の創出、強固な経済基盤の確立へ向けて取組を進めていきます。
		「広島未来チャレンジビジョン」には四つの挑戦が示されており、この産業振興ビジョンではその2番目の「新たな経済成長」についてビジョンを示しておられるように思います。4番目に掲げられた「豊かな地域づくり」はどこで担保されるのでしょうか。この産業振興ビジョンで方向を示されたいかがでしょうか。	「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる「豊かな地域づくり」のうち、「観光」分野等については、本ビジョンに盛り込んでおります。その他の分野については、例えば、「都市機能」について、「社会資本未来プラン」で基本方針を定めているほか、「平和貢献」について、「国際平和拠点ひろしま構想」の策定を予定しているなど、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、具体的な計画を定めて取組を進めることとしています。
		この産業振興ビジョンの前後の関係から推察しますと、「経済基盤の確立」はものづくり企業（産業）を中心とされているようです。第一次産業や観光を除く第三次産業について、ふれられていないように思います。それらのビジョンはいかがなのでしょう。	第一次産業については、「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」で基本方針を定めています。第三次産業については、本ビジョンの中で、観光産業のほか、都市型サービス産業について記載しています。
		県内雇用の7割強を支える中小企業の位置づけが、この産業振興ビジョンにはみあたりませんがいかがでしょうか。因みに、政府は昨年6月、「中小企業は経済を牽引する力であり、社会の主役である」とした「中小企業憲章」を閣議決定、「中小企業が光り輝き、もって安定的で活力ある経済と豊かな国民生活の実現をはかる」としています。	本ビジョンの基本理念は、企業の規模や業種にかかわらず企業、市町、団体、産業支援機関等が一丸となり、「イノベーション」を通じて、新たな付加価値を有する商品・サービスの提供や新たな市場の創出により、「雇用の維持・確保」、「県民所得の向上」、「県民生活の安定・向上」を図ることです。その中心は企業数、従業員数ともに大部分を占める中小企業と考えています。そのため、あえて中小企業を分けて位置づけることはしていません。

お寄せいただいた御意見			御意見に対する対応・考え方
9 (続き)	広島市 男性	全体として、魅力ある企業（産業）づくりについて、競争にどう打ち勝つかということが重視されているように思います。そういう視点も必要ですが、「共に生きる」、「雇用を守る」、「暮らしを支える」という魅力ある企業（産業）の視点を加えるということはいかがでしょうか。	「共に生きる」、「雇用を守る」、「暮らしを支える」という視点は重要であり、本ビジョンの基本理念の中にも、「雇用の維持・確保」、「県民生活の安定・向上」といった言葉で記載しています。
10	広島市 50代 男性	(11 ページ) 医工連携に特区制度をどのように絡ませて（申請）いくのかが、見えません。 税制の優遇なのか、海外研究者の確保か、知財保護への投資か？ 気にかかる点としては薬事法のクリアの部分の記載内容ですが、例えば特区で治験などを簡素化したとして開発しても、そういった製品が全国的に、世界的に受け入れられるかどうか？よくわかりません。	医工連携への特区制度の活用等については、今後別途、検討を行ってまいります。
11	広島市 60代 男性	県が策定するビジョンなので、「産業振興を“政策/施策面より”どのようにリードし、将来への道筋をどのように考えているか」が展開されていると期待しました。産業の道筋は産業界自身が戦略的に考え決めることが基本であり、県が示す産業の道筋は、県が産業政策等を考える上での1つの前提でしかないと思います。その意味で、産業の道筋が柱の県ビジョンには違和感を覚えました。 率直にコメントさせて頂くなら、このビジョン（素案）は、 ①「親（県）が子（産/県民）に“テストで100点を取れ”と言っているだけ」の様に読めました。 「親の責任で子をどのように育てようとしているのか、そのために親として何をするか」が、県ビジョンには期待されているのではないのでしょうか？ ②選択と集中の徹底が必要ではないのでしょうか？ 例えば、「基幹産	個々の企業の取組については、個々の企業が戦略的に決めることが基本と考えています。 県と企業等の関係については、親と子という関係ではなく、同じ危機意識、目標を共有し、共に歩むパートナーといった関係にあると考えています。 「基幹産業の競争力強化」は重要なことと考えており、取り上げています。 中小・零細企業について特筆してはいたませんが、企業数、従業員数ともに大部分を占める中小企業が元気であることは重要であり、本ビジョンに記載するイノベーション力の強化による新たな付加価値や市場の創出などは、当然、中小企業が中心になるものと考えています。

お寄せいただいた御意見		御意見に対する対応・考え方	
11 (続き)	広島市 60代 男性	業の競争力強化」は当然のことであり、県ビジョンに改めて取り上げねばならない必然性が理解できませんでした。 ③ 逆に中小・零細企業に配慮した視点が弱い(無い?)ことが気になりました。元気で活発な中小・零細企業の下支え無くして、広島県の産業振興は有り得ないと思います。 ④ マッパですが、「新たな経済成長を積極的に推進する」と言う表現はロジカルでしょうか？	
		(「4 目指すべき姿(将来像)」、 「5 目指すべき姿の実現のための基本方針」) 単なる思い付き、表現としての例でしかありませんが、「都市計画を革新的にイバって、産学誘致・人材育成/集積を実現する」とか、「県に商社的機能を創設して、成長市場を・・・」とか、県主導が前面に出た目指す姿を提示してもらえればと思いました。	いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
		(「6 本県産業振興の方向性」) 「医療関連産業クラスターの形成」は、ハイテク形成失敗の反省を踏まえた上での方向性なのでしょうか？ 知的/産的な集積基盤が弱い広島県では、同じ轍を踏むことになるのではないかと懸念します。一方、環境・エネルギー分野は余りに総花的ではないでしょうか？ 他県の先進的取組みが既に加速している中、真に独自性/地域性あるテーマを選択し、県総力を集中しなければ、振興への道は遠い様に思います。	医療関連産業クラスターの形成については、自動車関連で培った技術などが活かせること、企業の取組意欲があること、医療機器は部品数等も多く地域への波及効果が期待できることなどから重点的に取り組むものであり、核となる企業の誘致なども視野に入れて取り組みたいと考えています。環境・エネルギー分野については、選択と集中を検討し、環境浄化分野でクラスター形成を目指すこととしています。
		(「7 付加価値・競争力を高めるイノベーション力の強化」) 危機意識とマインドの醸成は「誰を/何を」を対象にした提起なのではないでしょうか？ 少なくとも産業界は、明日を生き抜くため、将来の発展のために、改革/改善の日々であり、危機感は溢れております。その	いただいた御意見を参考に30ページ(パブリックコメント版29ページ)の記載を修正しました。

お寄せいただいた御意見			御意見に対する対応・考え方
11 (続き)	広島市 60代 男性	意味では、イバーター ^① の集団であるとも認識しています（そうでない産は直ちに淘汰されます）。 「産学官金の意識共有会議の設置や、県民意識の高揚」は安易で、短絡的ではないでしょうか？県自身が危機意識を高揚させ、イバ ^② を実践することで、率先垂範すべきではないかと思えます。	
12	広島市 50代 男性	（9ページ, 16～19行） 「・企業にとって、海外からの資本の受入は、技術流出などのリスクがある一方で、資本の受入による経営基盤の強化、投資国における市場・販路の確保、業務提携による投資国の人材の活用などのメリットが期待できます。」と、ありますが、「都道府県・政令指定都市における知的財産に関する取り組み状況に関する調査結果（概要）平成20年3月特許庁総務部普及支援課」によると、広島県における知財推進計画策定状況一覧では、広島県における策定状況は十分とはいえない状況になっています。この状況では、技術流出のリスクを避けた上で、海外からの資本の受入を進めるべきと考えます。	いただいた御意見を参考に10ページ（パブリックコメント版9ページ）の記載を修正しました。
13	府中町 60代 男性	（19ページ, 28～32行） 「地球温暖化問題」「在来型石油の枯渇問題」から、世界的な関心は、エンジン効率を高めるアイドリングストップシステム、減速エネルギー回生システム、ハイブリッドシステムから、石油以外のエネルギーを使う、プラグインハイブリッドシステムや電気自動車に移ってきています。 米国カリフォルニア州では、2018年以降、電気自動車やプラグインハイブリッド車の導入を図るための規制強化を進めています。 中国でも、エネルギー資源問題から、プラグインハイブリッドの普及を図ろうとしています。	いただいた御意見を参考に20～21ページの記載を修正しました。

お寄せいただいた御意見			御意見に対する対応・考え方
13 (続き)	府中町 60代 男性	<p>従って、19頁の28～32行を、エンジン効率を高めるシステムだけでなく、石油以外のエネルギーを使うシステムにまで、言及した以下(A)のような表現にすべきと考えます。</p> <p>(A)</p> <p>「地球温暖化問題」「在来型石油の枯渇問題」への対応のため、エンジン効率を高めるアイドルストップシステム、制動エネルギー回生システム、ハイブリッドシステム、更には、石油以外のエネルギーを活用するプラグインハイブリッドシステム、電気自動車といった次世代自動車へ段階的に移行していくものと思われます。この移行により、電気デバイスの拡大だけでなく、従来の自動車機構部品が電気と融合したメカトロニクス部品に変更されたり、部品そのものが消失します。</p> <p>地域産業を維持し活性化していく為には、まず、部品の変更に、地域で対応できる力を付けることで、ビジネスの流出を防ぐ必要があります。加えて、拡大する電気デバイスに対して、地域でも、参入できるようカーエレクトロニクス化への対応力を強化することが求められています。</p>	
		<p>(20ページ, 2～9行)</p> <p>当面、エンジンは、ベース部品として存続しますが、次世代自動車への移行により、電気デバイスの拡大だけでなく、従来の自動車機構部品が電気と融合したメカトロニクス部品に変更されたり、部品そのものが消失します。</p> <p>従って、エンジンの高効率化や軽量化、省電力化、小型化、付加価値の向上といった在来型自動車部品の開発だけに注力しては、地域企業のビジネスは、縮少していくことになります。</p>	

お寄せいただいた御意見		御意見に対する対応・考え方
13 (続き)	府中町 60代 男性	<p>従って、20 頁の 2～9 行を以下(B)のような表現にすべきと考えます。</p> <p>(B)</p> <p>次世代自動車のニーズの高まりに応じ、カーエレクトロニクスへの対応が求められますが、地域にはカーエレクトロニクス技術の蓄積が不足しており、対応は、容易ではありません。従って、「地域に開発から製造まで一貫した自動車企業が存在する」と、「機械設計、加工、素材面で優れた技術蓄積を有する」という 2 つの特色を生かした戦略的な対応を検討します。</p> <p>一つは、メカトロニクス化する機構部品に対して、機構部品の技術蓄積を生かして、競合力のある製品を生み出し、ビジネスの流出を防ぐと共に、エレクトロニクス技術の習得を図ることで。</p> <p>二つ目は、拡大する電気デバイスに対して、遠距離輸送を行うと、非効率が発生する大型部品や車ごとのデザイン対応が求められ多品種となる部品を自動車会社の直近で生産することのメリットを生かして部品の取り込みを図ることで。</p> <p>三つ目が、ティア 2、ティア 3として、優れた素材や加工技術を生かした部品を供給できるようになることで。</p> <p>こうした部品や素材で、競合力を持つ為には、車やシステムの要求仕様や課題を正確に理解し、地域の特質を生かした新しい提案を行っていくことが必要です。そこで、地域では車やシステムの要求仕様や課題を地域企業が体得しながら、上記 3 つの視点から、地域で取り組む開発テーマを抽出し、開発する体制を構築していきます。</p>

お寄せいただいた御意見		御意見に対する対応・考え方
14	<p>広島市 60代 男性</p> <p>（「2 本県産業を取り巻く環境」）</p> <p>広島県は自動車産業の集積がある。経済のグローバル化、次世代自動車の普及の2つは、ダブルパンチで、広島県の自動車産業に大きな影響を与える。</p> <p>（1）経済のグローバル化</p> <p>①自動車部品産業の空洞化 安価な中国生産の自動車部品の海外調達の進展で県内の自動車部品産業は空洞化している。</p> <p>②完成車の国内生産の衰退 海外の現地生産の増加に伴う完成車輸出の減少、近年の韓国車の日本の国際市場の蚕食、少子高齢化に伴う国内の自動車の販売台数の逡減、などで、国内生産の減少がある。</p> <p>③自動車の低価格化 インドのタタ自動車のナノ（11万2735ルピー（約22万円））に代表される低価格車が登場し、自動車の低価格化がある。自動車・部品の国際的な低価格化がより進展する。</p> <p>（2）次世代自動車の普及 有限の化石燃料の枯渇は避けられず、各国の燃費規制、CO2規制が強化されつつある。プラグインハイブリッド車、電気自動車などの次世代自動車の普及が進む。次世代自動車の普及によって、電動化が進むが、電気部品は県内で生産がされておらず、広島県の自動車産業の弱点である。また、電気自動車になると、ガソリンエンジンや変速機の機械加工部品が不要となり、広島県の自動車産業は大きな打撃を受ける。</p>	<p>とても重要な視点であり、「6-II-(1)次世代自動車への対応」において具体的に記載し、取組を進めていくこととしています。</p>

お寄せいただいた御意見		御意見に対する対応・考え方
14 (続き)	<p>広島市 60代 男性</p> <p>(「7 付加価値・競争力を高めるイノベーション力の強化」)</p> <p>(1) 自動車部品メーカーの国際競争力の向上 県内の自動車部品メーカーの国際競争力を高めるための、生産技術の高度化を促進し、価格競争からのシフトを図る。</p> <p>(2) 2次3次メーカーの海外進出の促進 自動車部品メーカーの内、1次メーカーは、現地化が進展しているが、2次3次メーカーが取り残されており、今後中長期的には、行き場を失う。2次3次メーカーの生残り作として、同業連携などでの海外進出もありえる。そのための、人的・資金的な支援が必要である。</p> <p>(3) 次世代自動車対応 ひろしま産業振興機構のカーエレクトロニクス推進センターで、電動部品の開発研究が進められている。時間はそれほど長く許されていない。研究目標ではなく、具体的な部品・開発・生産の日程を明確化して、予算を注入して、より強力に進めるべきである。</p>	<p>とても重要な視点であり、「6-II-(1)次世代自動車への対応」において具体的に記載し、取組を進めていくこととしています。</p>
15	<p>江田島市 40代 男性</p> <p>(17 ページ, 29~32 行)</p> <p>宮島・平和公園・呉・鞆の浦……。インパクトのある観光施設が少ないこと。本通が将来衰退する可能性があること。これが広島県全体の観光の弱点です。多くの観光客が1日あるいは1泊2日で帰ってしまいますそれを解決するために市民球場跡地へのフットボールスタジアム(サッカーラグビー兼用)の建設を提案します。フットボール以外の用途として県主催の平和発信コンサートの会場とすれば、県民の宝、日本の宝、世界の宝となるスタジアムとなるでしょう。ラグビーワールドカップを誘致しても良いかもしれません。また広島市中心部にフットボールスタジアムを建設することは、賑わいをもたらすとともに、広島市の文化の多様性の向上につながり、全日本ならびに全世界から優秀な留学生を集めることを可能にします。</p>	<p>旧市民球場跡地の活用策については、広島市において検討が行われています。なお、頂いた御意見は有効活用するため、広島市に情報提供させていただきます。</p>